



穂高北小の天蚕飼育に奨励賞

11/22 大日本蚕糸会蚕糸功労者表彰

穂高北小学校が総合的な学習の時間に行っている「天蚕の飼育」が、一般財団法人大日本蚕糸会の「蚕糸絹文化学習教育奨励賞」に選ばれ、11月22日に表彰されました。同校では、有明地区で江戸時代から飼育する天蚕を教材に、地域の自然に触れることを目的に、昭和58年から天蚕の飼育を行っています。今回、地域と連携しながら飼育していることが評価され受賞しました。4年生の城山大翔くんは「大変だけど一生懸命に育てたので、賞をもらえてうれしい」と話しました。



安曇野を世界の故郷に

11/18 海外の旅行業者が安曇野を視察

市と市観光協会が行う外国人誘客プロモーション事業の一環として、タイとシンガポールの旅行業関係者が11月18日、市を訪れました。大王わさび農場など市内の視察を行ったほか、市役所で市長と意見交換しました。旅行業関係者は「旅行先として魅力的だが、外国語表記の看板やパンフレットを増やしてほしい」と話し、宮澤市長は「安曇野が世界の故郷となるよう力添えをお願いしたい」と話しました。市と市観光協会では今後も、海外向けの情報を発信していきます。

安曇野の一年の実りに感謝

11/5・6 第4回信州安曇野新そばと食の感謝祭農林業まつり

第4回信州安曇野新そばと食の感謝祭農林業まつり(実行委員会主催)が11月5日と6日、穂高神社特設会場で開かれました。会場には2日間で約3万8000人が来場し、安曇野の一年の実りを満喫しました。

北神苑会場では、市内11店舗による新そばの販売や市内産食材にこだわった「あづみ野丼」や「野菜スイーツ」などが提供されました。

また、南神苑会場では、一年の実りに感謝し野菜や果物を積んだ「豊稔宝船」の展示や、友好都市、地元学校や生産者等による特産品などの販売が行われました。

初日の5日に家族と訪れた西澤楓ちゃん(大町市)は「つゆをつけながら食べるのが大好きです」とおいしそうに新そばを味わっていました。



松沢求策の実像に迫る

11/5 戯曲「女たちの松沢求策」公演

市出身の自由民権運動家、松沢求策の生涯を題材にした戯曲、「女たちの松沢求策」(松沢求策顕彰会、松沢求策ライオンクラブ主催)が11月5日、穂高交流学習センター「みらい」で行われました。当日は、約300人が会場を訪れ、松沢求策の生涯を描いた映像と、妻や自由民権運動を応援する女性を描いた、語りの劇場「女たちの松沢求策」を鑑賞しました。鑑賞した浅川道廣さん(穂高牧)は「地元出身の思想家とは知っていたが、自由民権運動によって女性たちの生活が一変したことに驚きました」と話しました。



地域に支えられ開校50周年

11/5 穂高南小学校開校50周年記念式典

穂高南小学校開校50周年記念式典が11月5日、同校で開かれました。同校は昭和41年、当時の穂高小学校と西穂高小学校の統合により開校し、昭和62年には、児童数の増加により、穂高西小学校が分離開校しました。これまでに、7,538人の卒業生を送り出しています。

式典には、在校生のほか来賓、PTAなど約730人が出席し、「50年目の今」と題した映像の上映や校歌の合唱が行われました。

丸山福一校長はあいさつで、地域の支えと共に校風を育んできたことに感謝を述べ、児童会長の三好薫月くん(6年)は「たくさんの人に支えられている感謝の気持ちを大切に、僕たちもその心を受け継いでいきたい。卒業しても、笑顔と歌声のあふれる学校であってほしいです」と話しました。



里山の歴史を学ぶ

11/12 光城山の見方・歩き方講座

光城山についての理解を深め、歴史・文化の継承と自然環境の保護を目的に「戦国の山城、光城山の見方・歩き方講座」(光城山1000人SAKURAプロジェクト主催)が11月12日、現地で行われました。当日は、約30人が参加。山頂に残る土塁や堀といった山城の跡などについて講師の解説を聞きながら、光城山を歩きました。

参加した小林民子さん(穂高有明)は「歴史的背景を意識しながら登ったのは初めて。知らないことばかりで大変勉強になりました」と話しました。